



下着  
ワポルパー

# 性転換 オフェス

~性転換して、枕営業でお客様にご奉仕!ご奉仕!~

# 第1章



営業成績というものが怖いのです。成績が悪い社員は、『枕営業』要員に降格だからです。

男性社員も例外ではありません。成績が悪いと、強制『性転換』です。性転換すれば、枕営業もできまからね。

今日はそんな営業成績が悪い男性社員をビルの前に連れ出し、クールビューティーな女部長からの『お尻叩きの刑』の後、性転換させる日なのです。

女性になって、枕営業をする。覚悟はいいですね？

「はい。じゃあ、次はチーフのN君ね。貴方はチーフだから、特に罪が重いわよ。キミのチームの新人二人は貴方のせいで性転換したのよ。だからお尻叩きの回数も当然、倍……いえ、3倍位にしないと。150回のお尻叩きよ。もっとお尻上げなさい」



「このお尻叩きが終わったら、貴方は男を辞めるのよ。女になるのよ。そして、枕営業が仕事になる。男としての最後の仕事は、路上でお尻を叩かれるってどんな気分？ ほらっ！お尻を下げないっ！叩きづらいでしょ？ もっと突き上げなさい」

ちなみに横で吊るさされている二人の女性はい、つい先程まで男性でした。

女部長のお尻叩きを受け終わり、性転換手術を受けてきたのです。オチ○チンは綺麗に取れて、おっぱいは膨らんで、身体も顔も丸みが出ましたね。



何故吊るしてあるかは簡単です。せっかく女性になれたのですから、大勢の人にマ○コを見てもらって自分が男でなくなっただけを、強く自覚してもらったためです。

今日一日はこのままマ○コ丸出し、真っ赤なお尻丸出しで吊るされたままでしょう。そうやって男は女になるのです。

「営業先で聞かれたら、ちやんと答えるのよ。」  
『男は辞めました。これから私のマ○コも使って接待させていただきますよ。』って。それが貴方の仕事。

ほら、お客様が写メに撮ってくださってるのよ。お尻叩かれながらも御礼くらい言えるでしょ?」



「女になったからには、枕営業も出来るのだから目標値も上げれるわよね。性転換までして、枕営業してまで成績が上がらなかつたら、救いようがないわよ。わかつてるわよね?」  
ああ、心配しなくていいわ。可愛いお化粧の仕方ぐらい教えてあげるから」

「これは業務命令だから、まじめに聞きなさい。明日までに女物の下着、スーツを用意しなさい。もちろん出勤前からちゃんと女物を身に付けて来るのよ。分かってると思うけど、可愛い下着、可愛いスーツじゃなかったらその場でお尻叩きよ。毎日お尻叩きは…嫌でしょう?」



「間違っても男物の服なんか着て来ないでよ。かばんも靴も全部、女物。髪型も可愛い女の子セットで、出勤しなさい。それから、今日帰ったら男物の服は全部処分しなさい。処分した証拠写真を撮って、会社のサーバーにアップしておくこと。いいわね?」

「何、泣いてるのよ。女の子になれるのが嬉しいの？ だっただら嬉しいそうに微笑みなさい。それと……。あなた達全員、お尻叩きで勃起しちゃうってどういうこと？ これはあなた達を反省させるためにしてるのよ？ 男ってホント、どうしようもないマゾばかりね」



「まあ、いいわ。マゾな女の子はお客様にも可愛がってもらえるものね。昨日までは汚いM男。今日からは可愛いM女。たくさんの人になさい。可愛くご奉仕しなさい。たくさん契約を取ってきなさい。いいわね？」



クスクスという道行く他人の嘲笑を心の隅々まで満たされて、彼らは女の子になるのです。彼らの、人生最後の勃起は、

『成績が悪過ぎて、人前で女部長にお尻を叩かれた時』になるのです。それもまた良い思い出ですね(笑)。



人間不思議なもので、マゾっぽい人ほどこういう状況に陥りやすいのです。おマ○コ丸見えの状態で吊るされるなんて、M女以外は耐えられないですからね。

ああ、そうそう。性転換直前は、射精禁止ですよ。仕事中に射精なんて、社会人として最低ですからね。

# 第2章



突然ですが、女物の服の選び方、お分かりになりますか？

千差万別、種類も豊富、組み合わせに至っては無限大。文字通り男は門外漢の世界。

それを明日までに身に着けて来いと言われても、無難にこなすのはまず無理でしょう。

今回枕営業要員に堕ちた3人も上手く出来なかつたようです。

しかし、そういう人間は衣服をひん剥かれて、トイレ掃除をさせらるるのも、無理からぬところではないでしょうか。